

夏秋期イチゴ栽培では 近紫外線除去フィルムを利用すると品質が向上する

福島県農業総合センター 生産環境部
平成18年度農業総合センター試験成績概要

1 部門名

野菜 - イチゴ - 病害虫防除、品質・食味
分類コード 03-01-23270000

2 担当者

中村 淳・佐藤睦人・荒川昭弘

3 要旨

夏秋イチゴ栽培において、近紫外線除去フィルムをハウスの外装資材として用い、アザミウマ類の抑制効果および果実品質を検討した。

- (1) 近紫外線除去フィルム(390または380nm以下の波長不透過)を展張したハウスでは、アザミウマ類の花での寄生数が少なくなった。
- (2) 近紫外線除去フィルムを展張したハウスでは、アザミウマ類による被害果の発生が顕著に減少した。
- (3) 近紫外線除去フィルムを展張したハウスで収穫したイチゴ果実は、明るく鮮やかな色になり、果実品質が向上した。
- (4) 近紫外線除去フィルムを展張したハウスでは、受粉媒介昆虫としてミツバチを利用することはできないので、ハナアブなどの土着の受粉媒介昆虫に期待するか、マルハナバチを利用する。

4 その他の資料等

佐藤睦人ほか(2006)、東北地域研究成果情報